



数学の楽しさを実感し、生徒に伝えられる教師を目指す。

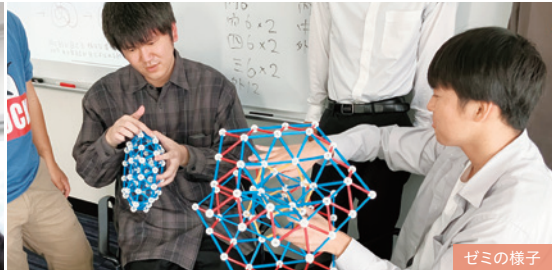
専門教育科目を通して数学の魅力を十分に理解し、広い知識と深い洞察力を養います。

教科としての「数学」を担うことのできる教材研究能力・教材開発力のある

高等学校・中等教育学校の教員の育成を目指します。



講義の様子



ゼミの様子



ゼミの様子

4年間の学び

数学専修では、代数学、幾何学、解析学、確率論・統計学、コンピューター、数学教育学といった幅広い学修領域を学びます。1年次から3年次前期にかけて、これらの分野の基礎を講義や演習を通して身に付けていきます。各分野の理論や手法、具体的な応用について深く学び、数学の確かな理解に基づいた指導力を養うことを目指します。3年次後期からは研究室に所属し、指導教員のもとで専門的なテーマに取り組み、より高度な知識と深い理解を得るための研究活動に励みます。そして4年次には、4年間の学びの集大成として、自身の探究を卒業論文にまとめます。

取得できる免許

〔卒業要件に含める免許状〕
高等学校教諭一種免許状(数学)

〔取得を優先して薦める免許状〕
中学校教諭一種免許状(数学)
◎特別支援学校教諭二種免許状

〔所定の科目履修で取得可能とする免許状〕
◎高等学校教諭一種免許状(情報)

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。

先輩Voice

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 数学専修4年
愛知県立半田東高等学校出身

数学をもっと身近に感じてほしい。
子どもたちが興味・関心の持てる
授業・教材づくりに取り組んでいます。

数学の専門性を高めると同時に、指導法や教材開発についても深く学ぶことができます。数学は他の教科と比べて具体的に捉えることが難しく、多くの子どもたちが苦手意識を持っています。そんな中、数学教育に精通した先生方から直接学べるのは大変心強いです。私が目指すのは、数学が生活の中でどのように役立っているかを気付かせ、子どもたちが興味を持って楽しく学べる授業。そのためにも、現実の課題をモデル化し、数学の知識で解決できる授業、教材づくりに取り組んでいきたいと思っています。

■ 2024年 2年次後期の時間割 (例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限		確率統計Ⅰ	学校体験活動Ⅰ	中等数学科教育法CⅢ	情報科教育法CⅠ
2時限	解析学A	道德教育の理論と方法	学校体験活動Ⅰ	情報と社会	情報通信ネットワーク
3時限	代数学概論	プログラミング	この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。		情報コンテンツ
4時限	情報システム	学校教育におけるICT活用			
5時限	キャリアデザインⅡ				

